

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

Ⅰ 基本事項

		整理番号	1120
事業名	新入学生配布防犯ブザー購入		予算科目
担当部課名	教育部	学校教育課	会計
電話	0799 - 37 -3018		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		教育費・10款
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_	
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】	
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		小学校新入学生	対象人数(人)
			456
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		市内の児童生徒に防犯ブザーを持たせることにより安全確保の実効性を向上させる。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	防犯ブザーを購入し、小学校新入学生に配布する。緑・西淡ライオンズクラブより200個寄贈して頂いているため、市は、不足分する約300個を購入している。		
背景	近年、全国各地で児童生徒の登下校時を狙った連れ去り事件等が頻繁に起きており、淡路島内においても例外ではないものと危惧される中、防犯ブザーの必要性が高まっている。		
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()		
	<input type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	新入学児童数					指標単位
							人
	指標説明 (指標算出 方法等)	新入学児童人数並びに配布児童生徒数					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	471	444	456	475	475	
	実績値	471	444	456			
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
目標値設定 の考え方	新入学児童数に対し、防犯ブザーを配布した数。						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	50	63	122	169	156	
	ブザー購入費	50	63	122	169	156	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	50	63	122	169	156	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	50	63	122	169	156		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	109.6	138.2	267.5	370.6	342.1		
経費に関する 補足説明							

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 新入学児童全員へ配布できた。					自己評価 (5点評価)	
						5	
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯ブザーの音色や音量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を促進することにより安全確保の実効性を向上させることができる。						自己評価 (5点評価)
							4
効率性	事業単価	円	109.6	138.2	267.5	370.6	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 本事業の目的並びに内容から、市内のどの地域の子どもが対象になるか予想できないこと、また、対象者が自らの力で対応できるような環境整備が必要と考えられる。					自己評価 (5点評価)	
						3	
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 近年、全国各地で児童生徒の登下校時を狙った連れ去り事件等が頻繁に起きており、淡路島内においても例外ではないものと危惧される中において必要である。					自己評価 (5点評価)	
						3	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析						
	全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。					評価グラフ	

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	近年、全国的に児童生徒を巻き込む犯罪が多発していることを踏まえて、平成22年度も現状維持で実施する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) このような防犯ツールを廃止するのは、保護者・学校からの理解は得られない。	